

(上下回旋斜視手術における手術効果) に関する研究のお知らせ

研究に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30年 8月 31日 ~ 平成 31年 3月 31日

〔研究課題〕

上下直筋水平移動術における上下偏位矯正量別の手術効果

〔研究目的〕

回旋（目が回転している）を伴う上下斜視に対して行う手術で、筋肉の移動量と回旋の矯正効果との関係を調べる研究です。

〔研究意義〕

当院では筋肉の移動量が一般的に行われている量よりも多い場合があり、矯正効果を調べることは新しい知見を得ることができ、今後の手術計画の際にそれをふまえて術量を定めることができます。

〔対象・研究方法〕

2010年10月から2016年1月に帝京大学附属病院眼科で外方回旋を伴う上下斜視に対し1年以上経過を迫えた下直筋後転+鼻側移動または上直筋短縮+耳側移動を施行した63例について、年齢、性別、疾患名、手術前眼科的検査所見、手術術式、手術後眼科的検査所見などを検討、比較します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従う

個人のデータは、それぞれ抽出する段階で匿名化し、患者のIDを含まずにデータ解析を行う。もともとの検査データは、電子カルテ内に保存されているものであり、これは診療に必要な情報であるため、保管は他の患者と同様とする。抽出したデータに関しての管理責任はデータ管理者にあるものとする。得られたデータは、学会や学術雑誌で発表する以外には研究組織外で公表せず、学会や学術雑誌で発表する際も個人のプライバシーに十分配慮し、個々人を特定できない形での公表とする。研究データは、研究責任者の責任において保管し、問い合わせ・苦情等があった場合は、研究責任者の責任において誠実に対応する。

患者様のデータは帝京大学医学部眼科学講座で匿名化し厳重に保管・管理し、個人が特定できないように配慮いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者： 兼担准教授 林 孝雄

研究分担者： 主任教授 溝田淳 准教授 三村達哉 病院准教授 渡邊恵美子

助教 太根 ゆさ、水野嘉信 助手 松本浩一、寺内岳

臨床助手 越智正登、浜野茂樹、矢倉和磨、酒井浩之

シニアレジデント 吉津和真

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 32626]